

# Mizuho Daily Market Report

2026/1/15

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	159.15	158.46	▲0.68	+1.70
EUR	1.1646	1.1644	+0.0002	▲0.0031
AUD	0.6695	0.6682	+0.0000	▲0.0039
SGD	1.2879	1.2879	▲0.0008	+0.0056
CNY	6.9736	6.9729	▲0.0048	▲0.0187
MYR	4.0505	4.0490	▲0.0085	▲0.0092
THB	31.42	31.43	▲0.04	+0.15
IDR	16865	16860	▲5	+85
PHP	59.44	59.45	+0.10	+0.08
INR	90.19	90.30	+0.11	+0.41
VND	26276	26277	+0	+3

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.132%	▲4.7 bp	▲1.6 bp
日本(10年)	2.188%	+1.5 bp	+6.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.814%	▲3.3 bp	+0.2 bp
オーストラリア(5年)	4.294%	+0.2 bp	▲4.5 bp
シンガポール(5年)	1.816%	+1.1 bp	▲4.6 bp
中国(5年)	1.626%	▲0.7 bp	▲4.4 bp
マレーシア(5年)	3.270%	+0.9 bp	+1.7 bp
タイ(5年)	1.293%	▲0.8 bp	+2.1 bp
インドネシア(5年)	5.625%	+2.0 bp	+13.0 bp
フィリピン(5年)	5.715%	▲1.5 bp	▲2.7 bp
インド(5年)	6.478%	+3.2 bp	+14.0 bp
ベトナム(5年)	3.607%	+6.0 bp	+28.1 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	49,149.63	▲0.1%	+0.3%
N225(日本)	54,341.23	+1.5%	+4.6%
STOXX50(ユーロ圏)	6,005.05	▲0.4%	+1.4%
ASX(オーストラリア)	5,483.97	+0.4%	+1.2%
FTSTI(シンガポール)	4,812.51	+0.1%	+1.4%
SSEC(中国)	4,126.09	▲0.3%	+1.0%
SENSEX(インド)	83,382.71	▲0.3%	▲1.9%
JKSE(インドネシア)	9,032.58	+0.9%	+1.0%
KLSE(マレーシア)	1,710.91	+0.2%	+2.0%
PSE(フィリピン)	6,389.81	▲0.3%	+1.6%
SETI(タイ)	1,244.30	+0.7%	▲2.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,894.44	▲0.4%	+1.8%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	306.82	+0.1%	+2.2%
金	4,626.58	+0.9%	+3.8%
原油(WTI)	62.02	+1.4%	+1.1%
銅	13,232.79	▲0.2%	+2.5%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	159.80
EUR/USD	1.1470	—	1.1800
AUD/USD	0.6385	—	0.6780
USD/SGD	1.2770	—	1.3130
USD/CNY	6.9610	—	7.0440
USD/MYR	4.0350	—	4.0930
USD/THB	30.80	—	32.10
USD/IDR	16500	—	16950
USD/PHP	56.10	—	59.90
USD/INR	89.10	—	91.40
USD/VND	26,100	—	26,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は159円台前半でオープン。東京仲値にかけては本邦衆議院の早期解散観測などを背景に底堅く推移する株式市場を横目に、ドル買いが先行。しかしその後は勢い続かず、為替介入への警戒感などから159円台前半で上値重く推移し、結局そのままの水準で海外時間に渡った。アジア通貨は主だった材料のない中、まちまちの展開となった。

欧州時間のドル円は、159円台前半でオープン。本邦の早期解散総選挙の思惑が強まる中、三村財務官の口先介入ともとれる発言などから円が買われ158円台半ばでNYオープン。NY朝方は米10月PPI(前月比)もヘッドラインは予想と一致するが、前回分が下方修正される一方、前年比の前回分が上昇修正され、強弱混在の結果となる中、米小売売上高が予想を上回り、ややドル買いが優勢となった。その後は米金利低下を背景に売りが優勢となり158円台前半まで下落するが、軟調な米株式市場が下げ幅を縮小する中、円売りにサポートされ158円台半ばでクローズした。

## 【金利】

昨日の米債利回りは低下。欧州時間から欧州債につられる形で米金利は低下。米指標は強弱入り混じるも金利の反応は限定的。しかし、その後米株式市場が下落してオープンすると、米金利もつられて一段と低下し、一時、4.13%台まで低下した。その後は横ばいで推移し、結局米10年債利回りは前日比▲4.7bpの4.132%で引けた。

## 【予想】

本日のドル円は上値のやや重い展開を予想。引き続き、高市首相による衆議院解散報道における政治的な不透明感から、円が買われづらい状況は継続すると考えられる。一方で、再び円安のスピードが高まってきたこともあり、口先介入が見られ始めたことに加え、ベッセント米財務長官が最近のウォン安について行き過ぎとの認識を示したことなどもあり、ウォンや円に対する過度な通貨安への警戒感が高まる可能性があるがそうだ。

## 【本日の予定】

(日本) 12月 国内企業物価指数  
(日本) 輪番 1-3y、5-10y、10-25y、25y超  
(アジア) 11月 インドネシア 毎月勤労統計  
(アジア) 11月 フィリピン 海外フィリピン労働者送金  
(アジア) 12月 インド 失業率  
(アジア) 12月 インド 貿易収支  
(アジア) 1月 豪 消費者インフレ期待  
(アジア) 韓国 金融政策会合  
(欧州) 11月 ユーロ圏 貿易収支 / 鉱工業生産  
(欧州) 11月 愛 貿易収支  
(欧州) 11月 英 GDP  
(欧州) 11月 英 サービス業指数 / 建設業生産高  
(欧州) 11月 英 鉱工業生産 / 製造業生産 / 貿易収支  
(欧州) 12月 仏 CPI(確)  
(欧州) 12月 愛 CPI  
(欧州) 12月 英 RICS住宅価格  
(欧州) 12月 西 CPI(確)  
(欧州) 2025年 独 GDP  
(欧州) 2025年 独 財政  
(米国) 11月 輸入物価指数  
(米国) 11月 輸入物価指数 / 輸出物価指数  
(米国) 12月 小売売上高  
(米国) 1月 ニューヨーク連銀製造業景気指数  
(米国) 1月 フィデリティア連銀景況  
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を書信でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。